

様式第3号-①（第4条関係）

工事成績採点の審査項目基準表

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が適切である	施工体制がほぼ適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が施工体制台帳、施工体系図で確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 請負代金内訳書が契約後14日以内に提出されている。 （※特別に提出を求める場合以外は、評価対象外であるので「-」を入力すること。） <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、船舶、機械等を配置した施工となっている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他 理由 :				<input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、監督職員から文書により改善指示を行った。 上記に該当があれば：e
			評価対象項目の評価値が90%以上 : a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c 評価対象項目の評価値が60%未満 : d	評価値	判定	
II. 配置技術者	現場代理人等	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができている。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先だち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導している。 <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置している。 <input type="checkbox"/> 専門技術者を専任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他 理由 :				<input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督職員から文書により改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。 ※ 専門技術者を配置する必要がない工事では「該当なし」であるから、「0」を入力する。 1項目でも該当があれば：d 2項目該当 : e
			評価対象項目の評価値が90%以上 : a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c 評価対象項目の評価値が60%未満 : d	評価値	判定	

様式第3号-②（第4条関係）

考查項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が適切である	施工管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策が見られる。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされている。 <input type="checkbox"/> 使用材料等の品質保証書等又は工事記録写真等が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切にされている。 <input type="checkbox"/> 工事全体で使用機械、車両等で低騒音、排出ガス対策機械を使用している。 <input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他 理由 :				<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改善請求を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書により改善指示を行った。 上記1項目でも該当があれば : d 2項目以上該当があれば : e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c 評価対象項目の評価値が60%未満 : d					
		評価値		判定			

様式第3号-③（第4条関係）

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工 程 管 理	工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 時間制限・片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程表の内容が検討され充実している。</p> <p><input type="checkbox"/> 夜間や休日等の作業が少なく、余裕をもって工期前に完成した。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所での工程管理が工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民に好印象を与えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p>				<p><input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。 （ただし、改善指示による場合を除く。） 上記に該当があれば： e</p> <p><input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書により改善指示を行った。 上記に該当があれば： d</p>
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 : a</p> <p>評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c</p> <p>評価対象項目の評価値が60%未満 : d</p>				
		評価値		判定		

様式第3号-④（第4条関係）

考查項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
		<p>「評価対象項目」</p> <p>災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回／月以上活動し、記録が整備されている。</p> <p>店社パトロールを1回／月以上を実施し、記録が整備されている。</p> <p>各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ、関係者に是正報告している。</p> <p>安全教育・訓練等を4時間／月以上適時、的確に実施し、記録が整備され、かつ、創意工夫をしている。</p> <p>安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。</p> <p>新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。</p> <p>安全管理の臨機の措置を行った。</p> <p>過積載防止に積極的に取り組んでいる。</p> <p>使用機械・船舶、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。</p> <p>重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</p> <p>山留め、仮締切等について、配置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>工事現場における保安施設等の整備・配置・管理が的確であり、よく整備されている。</p> <p>「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</p> <p>建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。</p> <p>安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。</p> <p>安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。</p> <p>安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。</p> <p>安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。</p> <p>安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。</p> <p>その他 理由 :</p>				<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害等を受けた。 上記に該当があれば：e <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理又は防災体制が不適切であった。 上記に該当があれば：d
		<p>TBM：ツールボックスミーティングの略 職長を中心にして、その日の作業や方法・段取り・問題点について短時間に話し合ったり、指示伝達を行うこと。</p> <p>KY：危険予知、 (KYT：危険予知訓練、KYK：危険予知活動)</p>				
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 : a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c 評価対象項目の評価値が60%未満 : d</p>				
		評価値	判定			

様式第3号-⑤（第4条関係）

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対 外 関 係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工に当たり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工に当たり、地元との適切な調整を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 積極的な地元対策又は周辺環境対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。</p> <p>または苦情によるトラブルが少なかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。</p> <p>または指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由 :</p>			<p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。</p> <p style="text-align: right;">上記に該当があれば： e</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。</p> <p>または対応が悪くトラブルがあった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書による指示を行った。</p> <p style="text-align: right;">上記に該当があれば： d</p>	
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 : a</p> <p>評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c</p> <p>評価対象項目の評価値が60%未満 : d</p>				
		評価値	判定			

様式第3号-⑦(第4条関係)

細別	a	b	c	d	e
II. 品質	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。	出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値・試験基準を超えるものがありばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値・試験基準を満足せず、品質が劣る。
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	判定			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e
	a	b	c	d	e
	品質管理が適切である		他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
機械設備工事・電気設備工事・建築一式工事	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 「機械設備工事・電気設備工事の場合」 <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む。)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機材・部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。			<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 「建築一式工事の場合」 <input type="checkbox"/> 杭材料の材料検査を実施し、規格又は性能を満足する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄骨の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 木材の品質が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 建具の性能等級が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を満足する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 品質管理に関する工事写真が明瞭で不足がないよう整理されていた。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び品質管理に係る記録の整理に創意・工夫がみられた。				<input type="checkbox"/> 「設備工事が含まれる場合の評価対象項目」(機材) <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。(施工) <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理に関する工事写真が明瞭で不足がないよう整理されていた。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び品質管理に係る記録の整理に創意・工夫がみられた。 <input type="checkbox"/> その他：
※上記欄によらず、当該欄で評価する場合は上のチェックボックスをチェックしてください。					
		評価対象項目の評価値が90%以上 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 評価対象項目の評価値が60%未満		a b c d	
		評価値		判定	

様式第3号-⑧(第4条関係)

考查項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	<input type="checkbox"/> ■施工規模の大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2. その他 理由：	【施工規模が大規模】 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 切土・盛土 15万m ³ <V ・護岸・築堤高 10m<H ・トンネル(シールド) 10m<φ トンネル(開削工法) 20m<H ・トンネル(NATM) 内空断面積 85㎡<A ・トンネル(沈埋工法) 300㎡<A 地滑り防止工:100m<W又は150m<L・浚渫工:100万m ³ <V 橋梁下部工 高さ 30m<H ・橋梁上部工 最大支間長 100m<L
		<input type="checkbox"/> ■構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む。) <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 5. その他 理由：	【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】 沈埋トンネル製作・築造で高度な技術を要する部分工事。 地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等のための検討が必要な工事。 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事。等 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 パイロット工事。または特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等 VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。
		<input type="checkbox"/> ■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 7. 新工法(機器類を含む。)及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 8. その他 理由：	その他、パイロット工事。または特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。
	<input type="checkbox"/> ■厳しい自然・地盤条件への対応・湧水・地下水 <input type="checkbox"/> 9. 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 10. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 11. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 12. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 13. その他 理由：	【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留工法が必要な工事。 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く。) 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。	
	<input type="checkbox"/> ■厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 14. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 15. 工事の影響に配慮すべき・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 16. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 17. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 18. 生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路の制約、高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 19. 現道上で、特に交通規制等が伴う作業 <input type="checkbox"/> 20. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 21. その他 理由：	【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする跨線橋又は跨道橋工事。 市街地での夜間工事。 D I D地区での工事。 供用中の道路(概ね日交通量1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事。 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 供用している専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。 工事の実施に当たり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び船舶・機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上(10m未満)での工事。 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。 その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。	
	<input type="checkbox"/> ■その他 <input type="checkbox"/> 25. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 理由：	【その他】 その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。	
		評点： ・施工条件等への対応は、加点评価とする。 ・加点は+6点～0点の範囲とする。1項目1点。	【高度技術のキーワードの詳細】

※1. 施工条件等への対応とは、工事全体を通じて他の類似工事に比べ、特別な対応を要する必要がある技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

※2. 詳細評価の記述に当たっては、各考查項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な施工条件等への対応を記述する。

※3. 対応は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

様式第3号-⑨（第4条関係）

考査項目	細 別	1. 創意工夫キーワード一覧表（創意工夫が多く見られるリスト）
5. 創意工夫	1. 創意工夫	<p>■準備・後片付け関係</p> <p>1. 測量・位置出しにおける工夫 2. その他 理由：</p>
	キーワード評価	<p>■施工関係</p> <p>3. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 5. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 6. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 7. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 8. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 9. 照明・視界確保等の工夫 10. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 11. 運搬車両・施工機械等の工夫 12. 支保工、型枠工、足場工及び仮栈橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 13. 施工管理及び品質向上等の工夫 14. その他 理由：</p>
		<p>■品質関係</p> <p>15. 集計ソフト等の活用と工夫 16. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 17. コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来形・品質等） 18. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 19. 配筋・溶接作業等に関する工夫 20. その他 理由：</p>
		<p>■安全衛生関係</p> <p>21. 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） 22. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 23. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 24. 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 25. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 26. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 27. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 28. その他 理由：</p>
		<p>■施工管理関係</p> <p>29. 盛土の締固、現場打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関係する工夫 30. 施工計画書及び写真管理等の工夫 31. 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 32. CAD、施工管理ソフト、度量管理システム等の活用 33. その他</p>
		<p>■その他</p> <p>34. その他 理由： 35. その他 理由： 36. その他 理由：</p>
	記 述 評 価	<p>評点： 点</p> <p>・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+5点～0点の範囲とする。 ・1項目1点とする。</p>

※1. 創意工夫においては「4. 工事特性」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。
 ※2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。
 ※3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
 ※4. 「4. 工事特性」との二重評価はしない。

様式第3号-⑩（第4条関係）

審査項目	細 別	a	b	c
6. 社会性等	I. 地 域 へ の 貢 献 等	地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がやや優れている	他の事項に該当しない場合
		<input type="checkbox"/> 河川、海岸等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙や現場見学等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> その他 理由：		
		※地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点评価する。		
		該当項目が2個以上 : a 該当項目が1個 : b 該当項目が0個 : c		
		該当項目	判定	

様式第3号-⑩ (第4条関係)

考査項目	細 別		
7. 法令遵守等		内 容	点 数
		項目該当なし	0点
		1. 指名停止3ヶ月以上	-20点
		2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
		3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
		4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
		5. 文書注意	-8点
		6. 口頭注意	-5点
		7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	-3点
		点数	
<p>①本評価項目（7. 法令遵守等）で評価する事例は、「工事の施工に当たり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。 ②「工事の施工に当たり」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。 ③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p>			
<p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は継承を行った。 3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。 6. 建設業法に違反する事実が判明した。 例) 一括下請け、技術者の選任違反等 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施に当たり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治圧力等をかけ、妨害した。 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。 あるいはそれに類する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。または暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 16. その他 理由： 			

工事成績評定審査基準表

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p>契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。</p> <p>施工計画書と現場施工方法が一致している。</p> <p>工事材料の資料の整備及び確認がなされ、管理されている。</p> <p>品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。</p> <p>見本又は工事記録写真等の整理に工夫がみられる。</p> <p>立会確認の手続きが事前になされている。</p> <p>工事記録の整備が適時、的確になされている。</p> <p>リサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p>作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。</p> <p>計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。</p> <p>施工体制台帳、施工体系図が整備されている。</p> <p>社内検査体制、品質管理体制が確立され、有効に機能している。</p> <p>施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。</p> <p>工事の関係書類及び資料整理がよい。</p> <p>社内の管理基準（品質及び出来形）が作成され管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由：</p>				<p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、監督職員が文書により改造請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき監督職員から文書による改善指示を行った。</p> <p>上記1項目でも該当があれば : d</p> <p>2項目以上該当があれば : e</p>
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 : a</p> <p>評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%以上80%未満 : c</p> <p>評価対象項目の評価値が60%未満 : d</p>				
		<p>評価値</p>		<p>判定</p>		

様式第3号-2 (第4条関係)

考查項目	a a		a	b b		b	c		d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ I. 出来形	出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%以内で下記の「評価対象項目」の		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の80%以内で下記の「評価対象項目」の	出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a aからbまでに該当しない。		出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。					
	4項目以上が該当する。		3項目が該当する。	2項目が該当する。	1項目が該当する。						
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> その他：					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
ばらつき		%以内		評価値		判定					
		a a	a	b b	b	c	d	e			
		出来形管理が適切である		出来形管理がほぼ適切である		他の事項に該当しない		出来形管理がやや不備である		出来形管理が不備である	
建築一式 工事 ・ 機械設備 工事 ・ 電気設備 工事 <input type="checkbox"/> ※上記欄 によら ず、当該 欄で評価 する場合 は、上記 をチェッ クする。			「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形・製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形・製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足している。 <input type="checkbox"/> その他：					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
					評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c						
				評価値		判定					

様式第3号-3 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II. 品 質	道路改良 工 事	<p>「評価対象項目」</p> <p>【土工関係】</p> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 法面植生工を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土質にあった締固め密度管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 抜開除根が適切になされ、処理されている。 <p>【コンクリート又はモルタル吹付工】</p> <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 金網が共通仕様書及び特記仕様書のとおり施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 <p>【路床、路盤】</p> <input type="checkbox"/> 路床施工に先立ち、土質、湧水等の現地の状況を適切に調査している。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。 <input type="checkbox"/> 路床の密度、支持力の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 凍上抑制層の密度管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 下層路盤工の密度管理が適切に行われている。 <p>【排水工】</p> <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の規格・品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられ、平坦に据え付けられるとともに蓋等の収まりがよく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 側溝の仕上がり面と排水面が整合がとれ、良好な排水が確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物との取り合いや曲線部の施工が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては、有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 a a : a a</p> <p>評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 a : a</p> <p>評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 b b : b b</p>					<p>評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 b : b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%未満 c : c</p>	
		<p>評価値</p>				<p>判定</p>		

様式第3号-4 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	舗装工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>「評価対象項目」</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。 <input type="checkbox"/> 路床の施工に先立ち、地質、湧水等の現地の状況を適切に調査している。 <input type="checkbox"/> 路床の密度、支持力の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 凍上抑制層の密度管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 下層路盤工の密度管理が適切に行われている。 <p>【アスファルト舗装工関係】 *アスファルト舗装の場合は、コンクリート舗装を評価対象外にする。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適正な混合物の規格が確認できる。 (アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。) <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、プラント出荷時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。 <input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。</p> <p>【コンクリート舗装工関係】 *コンクリート舗装の場合は、アスファルト舗装を評価対象外にする。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c <p style="text-align: right;"> 評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c </p>				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価値			判定			

様式第3号-5（第4条関係）

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	基礎工 工 事 (地盤改 良等を含 む。)	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 使用機器のキャリブレーションが行われている。 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒等）】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法又は場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ、記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立に当たって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> サンド・砕石ドレーンが計画深度まで連続した一様な形状に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> サンド・砕石コンパクションパイルが計画深度まで一様な品質で施工されている。 <input type="checkbox"/> 改良材の配合量（割合）・品質が事前配合試験の結果と整合している。 <input type="checkbox"/> チェックボーリングは、指定位置で行われ、試験強度（圧縮強度、N値等）は、指定値を満足している。				監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-6 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	土 工 事 (切工、 盛土、築 堤等工)	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 <input type="checkbox"/> 伐開除根が適切になされ、処理されている。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-7 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	法面工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さによって、必要な場所2層以上に分けて行っているのが確認できる。 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 金網が共通仕様書及び特記仕様書のとおり施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 【現場打法砕工、プレキャスト法砕工関係】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 枠のかみ合わせが滑動しないよう積み上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、芝等の品質、活着状況が均一で、施工後の養生が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c 評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価値				判定			

様式第3号-8 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	植栽工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-9 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
	標識工事 ・ 防護柵 (網)工事 ・ 防雪柵 (新設) 設置工事	<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格、溶融亜鉛メッキの厚さ又はメッキ材の付着重量が適正であることがミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭の施工長さが適正であり、確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリート天端が平滑に仕上げられ、ベースプレート面との間に空隙がない。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリート周辺の締め固め等の処理が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け管理が実施され、工事記録等から確認できる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-10 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	区 画 線 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令等の諸規定に従い適切に施工し、規格を満足している。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%程度以下である。 <input type="checkbox"/> 塗料の空き缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を180℃～220℃の温度で塗布できるよう、溶解槽等が管理され記録により確認できる。(熔融式のみ) <input type="checkbox"/> 反射に明暗がないようガラスビーズが均等に固着されており、工事写真等(夜間撮影)により品質の良さがうかがえる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-11 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	公園緑地 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕 ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 路床、路盤工のプルフローリングを行っている。 <input type="checkbox"/> 石積み、二次製品側溝等で材料のかみ合わせ又は連結が適正で、裏込め材等の沈下、崩壊又は漏水の恐れがない。 【舗装工・表層工】 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物(又は混合土等)の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。(事前審査は除く。) <input type="checkbox"/> クレー(混合土)表層材料の混合が入念に行われ、品質が均一であることが書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 平板、舗石、レンガ、タイル舗装等の目地に目違いがなく、共通仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。 (*砂目地は、幅3mm程度*モルタル化粧目地の場合幅10mm、深さ2~3mm程度) 【植栽・緑化工】 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われており、書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、鉢くずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 【付属物・設備工】 <input type="checkbox"/> 製品、機器の機能、性能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品、機器の配置に創意工夫がなされ、全体機能のバランスがよい。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物が設計図書に基づき適正に施工されており、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c 評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価値				判定			

様式第3号-12 (第4条関係)

12	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
	側溝工事 ・ 水路整備 工 事	<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の品質・規格が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 掘削面以下を乱さないように入念に施工され、施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート側溝周辺の締め固め等の処理が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 補修痕等がなく、施工方法が適正であることが、工事写真等の記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 製品が平坦に仕上げられ、蓋の収まりが良くガタツキがない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物との取り合いと曲線部の施工が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 側溝・水路の仕上がり面と排水面と整合がとれ、良好な排水が確認できる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値			判定				

様式第3号-13 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	水道工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 仕切り弁、消火栓の設置は設計図に基づき、仕様書どおり施工された。 <input type="checkbox"/> 管周囲、埋戻しは適正な材料が用いられ、仕様書どおり施工された。 <input type="checkbox"/> 埋設管路に対する防食被覆が適切に行われているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧試験は、所定水圧が問題なく確保され、管路の水密性が確認された。 <input type="checkbox"/> 弁室等構築は、ひび割れ、継ぎ手部の段差、漏水もない。 <input type="checkbox"/> 給水管継ぎ替に伴う復旧は、設計図に基づき仕様書等どおり施工され、周辺とのすり付けも良い。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧において、施工が仕様書の規定に従っており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がり状態が良い。 <input type="checkbox"/> 弁室の足掛け金物の配置が適切であり、鉄蓋も正確に据えつけられ、オサマリが良い。 <input type="checkbox"/> 施設内に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されている。 <input type="checkbox"/> 掘削時の土留めによる周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適正に行われている。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c							
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-14 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	下 水 道 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 管渠において漏水箇所がない。 <input type="checkbox"/> 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がない。 <input type="checkbox"/> 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> 推進管の裏込め材料が充分充填されている。 <input type="checkbox"/> 管渠(管布設・矩形渠布設、推進、シールド)工において出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に使用されている。 <input type="checkbox"/> マンホールにおいて、各部材にはクラック等がなく、漏水がない。 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく仕上がり天端高も適正である。 <input type="checkbox"/> インバートは、形状、勾配等が適正で、漏水がない。 <input type="checkbox"/> インバートは、その表面仕上げが適正である。 <input type="checkbox"/> 樹の天端は、周辺地盤になじんでおり、土地境界石、その他周辺の復旧仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 樹の取り付け管は、理由のない屈曲や、目立った沈下がない。 <input type="checkbox"/> 施設内に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されている。 <input type="checkbox"/> 掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> 埋戻において、締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧において、施工が仕様書の規定に従っており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がり状態が良い。 <input type="checkbox"/> 縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c 評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価値			判定			

様式第3号-15 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	管 水 路 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 仕様書に基づき締め固めが施工されている。 <input type="checkbox"/> 管の両端が均等に埋め戻されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管の吊り込み据付の際に、安全に配慮した施工がうかがえる。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-16 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	コンク リート構 造物工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格、引張り強度、曲げ強度がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中・暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 材質が適正で、品質が確認できるスペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c 評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価値				判定			

様式第3号-17 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	コンクリート 橋工事 (PC及びRCを 対象)	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格、引張り強度、曲げ強度がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 材質が適正で、品質が確認できるスペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> プレビーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c						
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c						
		評価値		判定				

様式第3号-18 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	建築工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 杭材料の材料検査を実施し、規格又は性能を満足する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄骨の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 木材の品質が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 建具の性能等級が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を満足する資料が整理されていた。 <input type="checkbox"/> 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督職員の確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 品質管理に関する工事写真が明瞭で不足がないよう整理されていた。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び品質管理に係る記録の整理に創意・工夫がみられた。 <input type="checkbox"/> その他： <input type="checkbox"/> その他： <input type="checkbox"/> その他：				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c					「設備工事が含まれる場合の評価対象項目」 (機材) <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 [] (施工) <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理に関する工事写真が明瞭で不足がないよう整理されていた。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び品質管理に係る記録の整理に創意・工夫がみられた。 <input type="checkbox"/> その他 []		
		評価値				判定			

様式第3号-19 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の項目に該当しない		品質管理がやや不備である	品質管理が不備である		
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む。）で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。 機械設備 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 工 事 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 ・ <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 電気設備 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 工 事 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 ・ 照明設備 工 事					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
II. 品 質		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-20 (第4条関係)

3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
		維持修繕工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であることを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
			「評価対象項目」 【舗装道維持修繕工事・穴埋め】 <input type="checkbox"/> 舗装が入念に実施されており、周縁部の確実な密着が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工面の水、ゴミ等の有害物を除去後に舗設したことが確実に確認できる。 <input type="checkbox"/> タックコート材が適切な方法により均一に散布又は塗布されており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適正な混合物の規格が確認できる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
			【道路維持修繕工事】 <input type="checkbox"/> 材料（二次製品）の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎、支柱が沈下しないよう、設置孔の基礎部が十分締め固められ、堅固に建て込まれている。 <input type="checkbox"/> 取り替え前に、既存部材の形状等がきめ細かに調整され、支障なく本来の機能が確保されている。 <input type="checkbox"/> 蓋掛け前に、施工区間内側溝の清掃が実施され、蓋のガタツキがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 標識板等に使用されている反射シートの重ね合わせ幅が5～10mm確保されている。 <input type="checkbox"/> 構造物、道路付属物周辺の除草、伐採が実施されており、均一に刈り込まれている。 <input type="checkbox"/> 道路パトロールが適時、適正に実施され、交通障害の防止及び作業計画の作成がきめ細やかに行われていることが確認できる。							
			【防雪柵設置工事（組立、収納、撤去）】 <input type="checkbox"/> 支線の設置方向及びタウンバックルの締め付けが適切であり、堅固に固定されている。 <input type="checkbox"/> 返納材料が部材毎に整理され、指定保管場所に適切に集積されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締付けボルト、固定金具の取り付け状況を入念に点検し、施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 部材形状がきめ細かに調整され、各スパンが均一に施工されていることが確認できる。							
			【上記工事以外】 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：							
			※ 主たる工種の考査事項で考査し、最大考査項目は4項目とする。							
			評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
			評価値				判定			

様式第3号-21 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であることを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
	電気通信 設備工事 ・ 受変電 設備工事	<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 設備の機能が設計図書等との適正が確認でき、その機能の証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)が良く、所定の能力を満足している。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 単体品(材料・部品組立後)の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。 ただし、J I S及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-22 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	塗装工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む。) <input type="checkbox"/> ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈澱していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-23 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	木製構造 物 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 構造物の中詰め等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 材料の規格に極端なばらつきがない。 <input type="checkbox"/> 材料に損傷や補修跡がない。 <input type="checkbox"/> 構造物の締め付け固定が確実に実施され、適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。					<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値			判定				

様式第3号-24 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	歩道工事 (キャブシステムを含む。)	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>「評価対象項目」</p> <p>【構造物等】</p> <input type="checkbox"/> コンクリート側溝が平坦に仕上げられ、蓋の収まりが良くガタツキがない。 <input type="checkbox"/> 端部の取り合いや曲線部の処理に創意工夫がなされ、きめ細かに施工されている。 <p>【土 工】</p> <input type="checkbox"/> 掘削を行うに当たり、路床面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締め固めを適正な条件で施工していることが確認できる。 <p>【路盤・舗装工】</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 (事前審査は除く。) <input type="checkbox"/> 平板、レンガ、タイル舗装等の目地に目違いがなく、共通仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。 (*砂目地は幅3mm程度*モルタル化粧目地の場合幅10mm、深さ2~3mm程度) <p>【付属設備・付帯工】</p> <input type="checkbox"/> 付属構造物・製品等の規格、品質、性能が成績証明書で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 付属構造物・製品等の配置がきめ細やかで、全体機能のバランスが良い。				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-25 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	トンネル 工 事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であることを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。					品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		<p>「評価対象事項」</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等で行っている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm(一目)以上重ね合わせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートは浮石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 上記に該当があれば：c					監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e	
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値			判定				

様式第3号-26 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	鋼橋工事 (RC床版工事は、コンクリート構造物に準ずる。)	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。	
		<p>「評価対象項目」</p> <p>【工場製作関係】</p> <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む。)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む。) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を、実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶処理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <p>【架設関係】</p> <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 <p>*工場製作のみの場合は架設を評価対象外に、架設のみの場合は工場製作を評価対象外にする。 評価対象外には、必ず「-」を入力してください。</p>				<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e		
		評価対象項目の評価値が90%以上 : a a 評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a 評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b 評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b 評価対象項目の評価値が60%未満 : c							
		評価値				判定			

様式第3号-27 (第4条関係)

考查項目	工 種	a a	a	b b	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
II. 品 質	地すべり 防止工事 及び 砂防構造物 工 事 (集水井 戸工事を 含む。)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共 通】</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。)</p> <p><input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋又は鋼材の規格がミルシートで確認できる。</p> <p>【砂防構造物工事】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおりに施工してあることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。</p> <p>上記に該当があれば：c</p> <p>* 砂防構造物の場合は地すべりを評価対象外に、地すべりの場合は砂防構造物を評価対象外にする。</p>				<p><input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記に該当があれば：d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記に該当があれば：e</p>	
		<p>評価対象項目の評価値が90%以上 : a a</p> <p>評価対象項目の評価値が80%以上90%未満 : a</p> <p>評価対象項目の評価値が70%以上80%未満 : b b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%以上70%未満 : b</p> <p>評価対象項目の評価値が60%未満 : c</p>						
		評価値		判定				

様式第3号-28 (第4条関係)

考查項目	工種	a a	a	b b	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品 質	前述以外 の 工 事 又は 合併工事	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内であるものを評価対象項目の評価値(%)でa、b、c評価を行う。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別途参照。				品質が試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		「評価対象項目」						<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。 上記に該当があれば：d	<input type="checkbox"/> 契約書第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記に該当があれば：e
		<input type="checkbox"/>	理由：						
		<input type="checkbox"/>	理由：						
		<input type="checkbox"/>	理由：						
		<input type="checkbox"/>	理由：						
		<input type="checkbox"/>	理由：						
		※ 該当工種からの考查事項で考查し、最大考查項目は、5項目とする。							
		評価対象項目の評価値が90%以上			： a a				
		評価対象項目の評価値が80%以上90%未満			： a				
		評価対象項目の評価値が70%以上80%未満			： b b				
		評価対象項目の評価値が60%以上70%未満			： b				
		評価対象項目の評価値が60%未満			： c				
		評価値				判定			

様式第3号-29（第4条関係）

考査項目	工 種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	1. 道路改良工事	通りが良い。			※評価項目 5項目以上 : a 4項目 : b 3項目 : c 2項目以下 : d
		端部処理が良い。			
		法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。			
		関係構造物等の取り合いが適切に行われている。			
		きめ細やかな施工がなされている。			
	全体的な美観が良い。		判定		
	2. 舗装工事	舗装の平坦性が良い。			※評価項目 5項目以上 : a 4項目 : b 3項目 : c 2項目以下 : d
		構造物の通りが良い。			
端部処理が良い。					
構造物へのすりつけ等が良い。					
雨水処理が良い。					
全体的な美観が良い。		判定			
3. 基礎工工事 (地盤改良等を を含む。)	土工関係の仕上げが良い。			※評価項目	3項目以上 : a
	通りが良い。				2項目 : b
	端部、天端仕上げが良い。				1項目 : c
	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		判定		該当項目なし : d
4. 土工事 (盛土・築堤工事等)	仕上げが良い。			※評価項目 4項目以上 : a 3項目 : b 2項目 : c 1項目以下 : d	
	通りが良い。				
	端部処理が良い。				
	構造物へのすりつけ等が良い。				
	全体的な美観が良い。		判定		
5. 法面工事	通りが良い。			※評価項目	3項目以上 : a
	植生、吹付等の状態が均一である。				2項目 : b
	端部処理が良い。				1項目 : c
	全体的な美観が良い。		判定		該当項目なし : d
6. 植栽工事	樹木の活着状況が良い。			※評価項目	3項目以上 : a
	支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。				2項目 : b
	支柱の取り付けが堅固である。				1項目 : c
	植栽帯の全体的な美観が良い。		判定		該当項目なし : d
7. 標識工事	設置位置に配慮がある。			※評価項目 4項目以上 : a 3項目 : b 2項目 : c 1項目以下 : d	
	標識の向き、角度、支柱の通りが良い。				
	標識板、支柱に変色がない。				
	支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。				
	全体的な取り扱いがしやすい。		判定		
8. 区画線工事	塗料の塗布が均一である。			※評価項目 4項目以上 : a 3項目 : b 2項目 : c 1項目以下 : d	
	視認性が良い。				
	接着状態が良い。				
	施工前の清掃が入念に実施されている。				
	全体的な美観が良い。		判定		

様式第3号-30 (第4条関係)

考查項目	工 種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ	9. 公園緑地工事	仕上げが良い。			
		きめ細かに施工されている。			
		全体的な美観が良い。			
		通りが良い。			
		天端・端部仕上げ及び目地仕上げが良い。			※評価項目
		関係構造物との取り合いが適切に行われている。			6項目以上 : a
		舗装、クレイ表層、舗石、平板・ブロック等の平坦性が良い。			5～4項目 : b
		樹木の活着状況が良い。			3項目 : c
		地被類、植生芝、種子吹き付け等の状態が均一である。			2項目以下 : d
			判定		
	10. 側溝・水路整備工事 (二次製品新設)	仕上がりが良い。			※評価項目
		通りが良い。			4項目以上 : a
		既設構造物とのすりつけが良い。			3項目 : b
		舗装等、周辺路地盤等の排水性が良い。			2項目 : c
			判定	1項目以下 : d	
11. 水道工事 12. 下水道工事	仕上げが良い。			※評価項目	
	通りが良い。			5項目以上 : a	
	付属構造物の肌が良い。			4項目 : b	
	継ぎ手部、連結部の仕上げが良い。			3項目 : c	
	既設構造物とのすりつけが良い。			2項目以下 : d	
		判定			
13. 管水路工事	管の通りが良い。			※評価項目	
	管内面塗装に補修痕がない。			3項目以上 : a	
	小構造物もきめ細かく仕上げている。			2項目 : b	
	全体的な美観が良い。			1項目 : c	
		判定	該当項目なし : d		
14. コンクリート構造物工事 26. トンネル工事	コンクリート構造物の肌が良い。			※評価項目	
	コンクリート構造物の通りが良い。			5項目以上 : a	
	天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			4項目 : b	
	クラックがない。			3項目 : c	
	漏水がない。			2項目以下 : d	
	施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				
	きめ細かな施工がなされている。				
	全体的な美観が良い。				
		判定			
15. コンクリート橋工事	コンクリート構造物の肌が良い。			※評価項目	
	コンクリート構造物の通りが良い。			6項目以上 : a	
	天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			5～4項目 : b	
	支承部の仕上げが良い。			3項目 : c	
	クラックがない。			2項目以下 : d	
	漏水がない。				
	全体的な美観が良い。				
		判定			

様式第3号-31 (第4条関係)

考査項目	工 種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
3. 出来形及び 出来ばえ	16. 建築工事 (解体以外)	杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好であった。			
		鉄筋の配筋状態が良好であることが、工事写真等により確認できた。			
Ⅲ. 出来ばえ		型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鋸くず、ゴミ等が無かった。			
		コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好であった。			
		コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少なかった。			
		鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できた。			
		鉄骨の建て入れ試験結果が良好であった。			
		防水工事に関する納まりに問題(水たまり、ふくれ、端部処理)が少なかった。			
		シーリング材が適材適所に使用され、納まりに問題が少なかった。			
		タイルの張り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容を満たしていた。			
		木工事の取付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題は、少なかった。			
		各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は、良好であった。			
		左官仕上げの状態に不陸、クラックが少なかった。			
		建具(ドア、サッシ類)の可動部分の不具合が少なかった。			
		ガラスの厚み、種類、留め材の施工は、適切であった。			
		戸当たり、手摺、ハンドル類の取り付け位置等、使い勝手への配慮があった。			
		塗装の塗り残し、むらが少なかった。			
		仕上塗料の塗布量が設計図書の塗布量を満足していた。			
		仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキが少なかった。			
		設備工事との取り合いに係る問題が少なかった。			
		適切な養生が行われ、汚れや傷が少なかった。			
		適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等が無かった。			
		[改修]外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料があった。			
		社内の管理基準による社内検査を実施し、これに合格していた。			
		出来形、精度の確保に向けた創意や工夫が見られた。			
		出来ばえの向上のための、創意・工夫が見られた。			
		その他：			
		その他：			
		「設備工事が含まれる場合の評価対象項目」			
		きめ細かな施工がされている。			
		関連工事との調整がなされ全体的に調和が良くとれた仕上がりである。			
		使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である。			
		高い品質・性能が確保されている。			
		運転及び保守点検に対する配慮が適切である。			
		機器などの操作説明、取り扱い説明が整備されている。			
		設計図書及び関連法規に適合している。			
				該当項目が90%以上	: a
				該当項目が80%以上～90%未満	: b
				該当項目が60%以上～80%未満	: c
				該当項目が60%未満	: d
		評価値		判定	

考査項目	工 種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
3. 出来形及び 出来ばえ III. 出来ばえ	17. 機械設備工事	仕上り状態が良く、全体的な美観に優れている。			※評価項目
		主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。			4項目以上 : a
		異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。			3項目 : b
		公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。			2項目 : c
		溶接、塗装、組立等細部に渡る配慮が良い。		判定	1項目以下 : d
	18. 電気設備工事	構造物等にきめ細やかな施工がなされている。			※評価項目
		公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。			4項目以上 : a
		19. 照明設備工事その他 類似工事	構造物とのすりつけが良い。		3項目 : b
		製作上の補修痕跡がない。			2項目 : c
		全体的な取扱いがしやすい。		判定	1項目以下 : d
	20. 維持修繕工事	小構造物等にも細心の注意が払われている。			※評価項目
		きめ細かな施工がなされている。			4項目以上 : a
既設構造物、周辺路面とのすりつけが良い。				3項目 : b	
周辺在来地盤とのすりつけが良い。				2項目 : c	
仕上げ面が平坦で整理状態（伐採木、河床掘削等）が良い。				1項目以下 : d	
	全体的な美観が良い。		判定		
21. 電気通信設備工事	主設備、関連施設等にきめ細かな施工がされている。			※評価項目	
	公共物としての安全、環境、維持、管理への配慮が良い。			4項目以上 : a	
	22. 受変電設備工事その他 類似工事	既設構造物等とのすりつけが良い。		3項目 : b	
	製作上の補修痕跡がない。			2項目 : c	
	全体的な取扱いがしやすい。		判定	1項目以下 : d	
23. 塗装工事 (工場塗装を除く。)	塗装の均一性が良い。			※評価項目	
	細部まできめ細かな施工がされている。			4項目以上 : a	
	補修箇所がない。			3項目 : b	
	ケレンの施工状況が良好である。			2項目 : c	
	全体的な美観が良い。		判定	1項目以下 : d	
24. 木製構造物工事	地山・既設構造物とのすりつけが良い。			※評価項目	
	構造物周辺の整地等が適正に施工されている。			4項目以上 : a	
	通りが良い。			3項目 : b	
	細部まできめ細やかな施工がなされている。			2項目 : c	
	全体的な美観が良い。		判定	1項目以下 : d	
25. 歩道工事 (キャブシステムを含む。)	通りが良い。			※評価項目	
	きめ細かな施工がなされている。			5項目以上 : a	
	平坦性が良い。			4項目 : b	
	仕上げが良い。			3項目 : c	
	構造物間の取り合いが良い。			2項目以下 : d	
	全体的な美観が良い。		判定		

様式第3号-32 (第4条関係)

考查項目	工 種	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	27. 切土工事	<input type="checkbox"/>	規定された勾配が確保されている。	<input type="checkbox"/>	※評価項目 6項目以上 : a 5～4項目 : b 3項目 : c 2項目以下 : d
		<input type="checkbox"/>	法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。		
		<input type="checkbox"/>	法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。		
		<input type="checkbox"/>	施工面の木根等が確実に施工されている。		
		<input type="checkbox"/>	施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。		
		<input type="checkbox"/>	関係構造物等との取り合いが適切に行われている。		
	<input type="checkbox"/>	残土等は適切に処理されている。	<input type="checkbox"/>	判定	<input type="checkbox"/>
	28. 鋼橋工事	<input type="checkbox"/>	表面に補修箇所がない。	<input type="checkbox"/>	※評価項目 4項目以上 : a 3項目 : b 2項目 : c 1項目以下 : d
		<input type="checkbox"/>	部材表面に傷、錆がない。		
		<input type="checkbox"/>	溶接に均一性がある。		
		<input type="checkbox"/>	塗装に均一性がある。		
	<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	判定	<input type="checkbox"/>
29. 地すべり防止工事	<input type="checkbox"/>	地山との取り合いが良い。	<input type="checkbox"/>	※評価項目 3項目以上 : a 2項目 : b 1項目 : c 該当項目なし : d	
	<input type="checkbox"/>	天端、端部の仕上げが良い。			
	<input type="checkbox"/>	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。			
	<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。			
<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	判定	<input type="checkbox"/>	
30. 解体工事	<input type="checkbox"/>	関連工事との調整がなされ全体に調和が良い仕上げである。	<input type="checkbox"/>	※評価項目 3項目以上 : a 2項目 : b 1項目 : c 該当項目なし : d	
	<input type="checkbox"/>	埋め戻し材等の状態が良く、起伏やぬかるみがない。			
	<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良好である。			
	<input type="checkbox"/>	発生材が適切に処理されている。			
<input type="checkbox"/>	全体的な美観が良好である。	<input type="checkbox"/>	判定	<input type="checkbox"/>	
31. 上記以外の工事又は 合併工事	<input type="checkbox"/>	理由 :	※ 該当工種からの考查事項で考查し、最大考查項目は、5項目とする。		
	<input type="checkbox"/>	理由 :			
	<input type="checkbox"/>	理由 :	※評価項目 4項目以上 : a 3項目 : b 2項目 : c 1項目以下 : d		
	<input type="checkbox"/>	理由 :			
	<input type="checkbox"/>	理由 :			
	<input type="checkbox"/>	理由 :	<input type="checkbox"/>	判定	<input type="checkbox"/>